

# 北米邦字新聞にみられる日本語の特徴

篠崎晃一（東京都立大学人文学部）

中井精一（天理大学附属天理参考館）

## 1、研究のあらまし

明治以降、日本人は移民として多数、海外に渡っていった。明治初期の統計にはあまり多くの信頼をおくことはできないが、太平洋戦争勃発までの約70年の間におよそ77万6000人の日本人移民が海外に渡航していったとされる。

日本人移民は、北米、中・南米、東南アジア、オセアニアのさまざまな地域へ渡り、ブラジルではコーヒー農園で、キューバでは砂糖きびプランテーションで農夫として働き、カナダでは漁師になったり、南洋諸島に渡った者は真珠採集の潜水夫になって働いた。明治から昭和前期のいわゆる日本の近代にあたる時期に海外に移住していった日本人にはさまざまな出国の要因があったが、海外に進出した日本人らはそれぞれの土地で「日本人会」を作り、これを核にしたエスニックグループを形成していった。

本研究は、日本の近代化の過程で形成され、現在わが国と密接な関係にある北米日本人社会（南部カリフォルニア日系人社会）における日本語がどのように運用され、表記されてきたかといったことに注目し、その社会で刊行された邦字新聞（加州毎日新聞）の分析をとおり海外日系人における日本語の変遷とその特質をさぐることを目的としている。

## 2、北米の邦字新聞について

日本人移民は、北米、中・南米、東南アジア、オセアニアのさまざまな地域へ渡り、海外移民として、また、戦前、大日本帝国の支配下にあった台湾・朝鮮半島・満州などに植民者として100万人以上の人々が移住していった。

これらの海外に進出した日本人らはそれぞれの土地で「邦字新聞」を作り、それをひとつの文化的紐帯としていた。北米日系人社会でも組織的に移民が開始されてわずか数年にしかならない明治19年には、海外日本語新聞の先駆ともいえる『東雲雑誌』をサンフランシスコを中心とした北部カリフォルニアにおいて発行していたのである。

北米日系人社会で発行された主な日本語新聞を年代順に記すと以下のようになる。

1886年（明治19）東雲雑誌 サンフランシスコ  
1887年（明治20）新日本 オークランド  
1892年（明治21）桑港新聞 サンフランシスコ  
1902年（明治35）北米時事 シアトル  
1903年（明治36）羅府新報 ロサンゼルス  
1914年（大正3）ユタ日報 ソルトレークシティ

1931年（昭和6）加州毎日 ロサンゼルス

なお、上記の新聞の中から本研究の主旨に見合った資料的価値を有し、加えて分析に必要なデータ量を確保できるという点で、「加州毎日新聞」を分析の対象に取り上げることにした。

## 3、加州毎日新聞について

「加州毎日新聞」は1931年11月ロサンゼルスにて発刊された海外日本語新聞（日刊紙）である。この新聞は、元八幡製鉄所外事部主任で、渡米後ロサンゼルス日本人会会長をつとめた藤井整が社長となって創刊したもので、1942年2月21日から1947年8月10日までの太平洋戦争による休刊の期間をのぞき、1980年12月の廃刊までおよそ50年間、南カリフォルニア日系人社会のなかで続いた。

紙面の内容は「加州毎日新聞」をとりまく日系人社会の動向によって差異があるが、南カリフォルニア地域の社会・経済・政治の動向および、日本本国の社会・経済・政治・外交等を中心となっている。移住先であるアメリカ合衆国に関する記事は時代とともに増加するものの全体としては少ない。

## 4、資料の収集とその方法

資料収集については、「加州毎日新聞」が創刊された1931年から10年を1つの区切りとして、1941年、51年、61年、71年、81年と10年刻みで取り扱う予定であったが、本紙は1980年12月をもって廃刊されたので、80年代に関しては80年の紙面をもってあてることにした。

選定した各時期の1月分の紙面を調査対象とし、そこから語彙・語法・表記についてのデータをできるだけ広範囲に採集するというスタイルをとった。

なお、語彙については、各時期の紙面の中から「のべ語数1万語」相当量を選定し、語種や品詞について調査することにした。

今回のデータ収集のもととなった「加州毎日新聞」は以下の所蔵による。

1931年11月 国立国会図書館（マイクロ）  
1941年11月 国立国会図書館（マイクロ）  
1951年 7月 天理図書館  
1961年 7月 天理図書館  
1971年 7月 立命館大学図書館（マイクロ）  
1980年 7月 立命館大学図書館（マイクロ）

**加州毎日新聞**

SEABOARD MARSHES  
CALIFORNIA DAIRY BUREAU  
PUBLISHED DAILY  
EXCEPT SUNDAYS & HOLIDAYS  
Subscription Office  
Los Angeles 12, Calif.  
Circulation Information 2-11  
BELLPHONE MEASUREMENT 2-11

Price 5 CENTS  
Retail Price 5 CENTS  
Advertising Rates  
Apply to the Editor  
1 Year \$3.00  
6 Months \$1.75  
3 Months \$1.00

小坂外相あす渡米  
國連總會で演説



【東京十三日電】小坂外相は、十三日午後九時、東京からロンドンへ乗る。十四日午後九時、ロンドンからワシントンへ乗る。十五日午後九時、ワシントンからニューヨークへ乗る。十六日午後九時、ニューヨークからシカゴへ乗る。十七日午後九時、シカゴからサンフランシスコへ乗る。十八日午後九時、サンフランシスコからロサンゼルスへ乗る。十九日午後九時、ロサンゼルスからサンディエゴへ乗る。二十日午後九時、サンディエゴからメキシコシティへ乗る。二十一日午後九時、メキシコシティからモントレーへ乗る。二十二日午後九時、モントレーからメキシコシティへ乗る。二十三日午後九時、メキシコシティからロサンゼルスへ乗る。二十四日午後九時、ロサンゼルスからサンフランシスコへ乗る。二十五日午後九時、サンフランシスコからワシントンへ乗る。二十六日午後九時、ワシントンからロンドンへ乗る。二十七日午後九時、ロンドンから東京へ乗る。二十八日午後九時、東京から大阪へ乗る。二十九日午後九時、大阪から名古屋へ乗る。三十日午後九時、名古屋から東京へ乗る。三十一日午後九時、東京から大阪へ乗る。十二月三十一日午後九時、大阪から東京へ乗る。

西歐陣と協調  
總會に臨む基本方針

【東京十三日電】西歐陣と協調する基本方針を、十三日午後九時、東京からロンドンへ乗る。十四日午後九時、ロンドンからワシントンへ乗る。十五日午後九時、ワシントンからニューヨークへ乗る。十六日午後九時、ニューヨークからシカゴへ乗る。十七日午後九時、シカゴからサンフランシスコへ乗る。十八日午後九時、サンフランシスコからロサンゼルスへ乗る。十九日午後九時、ロサンゼルスからサンディエゴへ乗る。二十日午後九時、サンディエゴからメキシコシティへ乗る。二十一日午後九時、メキシコシティからモントレーへ乗る。二十二年午後九時、モントレーからメキシコシティへ乗る。二十三年午後九時、メキシコシティからロサンゼルスへ乗る。二十四日午後九時、ロサンゼルスからサンフランシスコへ乗る。二十五日午後九時、サンフランシスコからワシントンへ乗る。二十六日午後九時、ワシントンからロンドンへ乗る。二十七日午後九時、ロンドンから東京へ乗る。二十八日午後九時、東京から大阪へ乗る。二十九日午後九時、大阪から名古屋へ乗る。三十日午後九時、名古屋から東京へ乗る。三十一日午後九時、東京から大阪へ乗る。十二月三十一日午後九時、大阪から東京へ乗る。



大鵬を破る  
大相撲四日目

【東京十三日電】大相撲四日目は、十三日午後八時、東京からロンドンへ乗る。十四日午後八時、ロンドンからワシントンへ乗る。十五日午後八時、ワシントンからニューヨークへ乗る。十六日午後八時、ニューヨークからシカゴへ乗る。十七日午後八時、シカゴからサンフランシスコへ乗る。十八日午後八時、サンフランシスコからロサンゼルスへ乗る。十九日午後八時、ロサンゼルスからサンディエゴへ乗る。二十日午後八時、サンディエゴからメキシコシティへ乗る。二十一日午後八時、メキシコシティからモントレーへ乗る。二十二年午後八時、モントレーからメキシコシティへ乗る。二十三年午後八時、メキシコシティからロサンゼルスへ乗る。二十四日午後八時、ロサンゼルスからサンフランシスコへ乗る。二十五日午後八時、サンフランシスコからワシントンへ乗る。二十六日午後八時、ワシントンからロンドンへ乗る。二十七日午後八時、ロンドンから東京へ乗る。二十八日午後八時、東京から大阪へ乗る。二十九日午後八時、大阪から名古屋へ乗る。三十日午後八時、名古屋から東京へ乗る。三十一日午後八時、東京から大阪へ乗る。十二月三十一日午後八時、大阪から東京へ乗る。

**戀に命を**  
川内 廣範

人五五五  
恋に命を  
川内 廣範

【東京十三日電】大相撲四日目は、十三日午後八時、東京からロンドンへ乗る。十四日午後八時、ロンドンからワシントンへ乗る。十五日午後八時、ワシントンからニューヨークへ乗る。十六日午後八時、ニューヨークからシカゴへ乗る。十七日午後八時、シカゴからサンフランシスコへ乗る。十八日午後八時、サンフランシスコからロサンゼルスへ乗る。十九日午後八時、ロサンゼルスからサンディエゴへ乗る。二十日午後八時、サンディエゴからメキシコシティへ乗る。二十一日午後八時、メキシコシティからモントレーへ乗る。二十二年午後八時、モントレーからメキシコシティへ乗る。二十三年午後八時、メキシコシティからロサンゼルスへ乗る。二十四日午後八時、ロサンゼルスからサンフランシスコへ乗る。二十五日午後八時、サンフランシスコからワシントンへ乗る。二十六日午後八時、ワシントンからロンドンへ乗る。二十七日午後八時、ロンドンから東京へ乗る。二十八日午後八時、東京から大阪へ乗る。二十九日午後八時、大阪から名古屋へ乗る。三十日午後八時、名古屋から東京へ乗る。三十一日午後八時、東京から大阪へ乗る。十二月三十一日午後八時、大阪から東京へ乗る。

5、分析の視点とその方法

まず、語彙の分析については、先述のように各時期の紙面の中から「のべ語数1万語」相当量を選定し、語種や品詞について調査を進める。さらに、各時期1カ月分の紙面から当該地域における言語運用において特徴的だと考えられる外来語や漢語・和語についても採集を進める。

次に語法については、「文語的表現から口語的表現への変遷について」を分析の主眼とし、五段階詞の可能動詞化や副詞の呼応、依普段手にする一般紙に比べて格段に多く、海外移住地における日本語新聞の特色とも言える。というのも「加州毎日新聞」が発行された1930年代のサンフランシスコ在住日系人の数はおよそ3万5000人で、そのほとんどは十分な学校教育を受けずに渡米した移住1世で占められていたからである。このような読み手側の事情が紙面に反映されていると言えよう。

たとえば、「加州毎日新聞」におけるルビに焦点をあて、これをもとにした「旧かなづかい」や「外来語」に関する特徴について見ると、具体的に上に掲げた紙面からも、「第一六回通常總會」（回・会をくわい）、「首脳」（しゅなう）、「西歐陣営」（陣をぢん）、「関係国」（くわんけいこく）、「昏倒」（こんたふ）などの事例が、確認されるであろう。

また、  
卓布 てーぶるくろす 1931年11月5日

頼表現や待遇表現などについても採集している。

表記については、「旧かなづかい」および外来語の表記に焦点をあてて分析している。特に「旧かなづかい」については、1946年11月16日をもって本国では「現代かなづかい」が公布され、日本国内で発行される新聞は、これに従って移行していくが、海外移住先における日本語新聞は、この規制を受けることがなく独自の動きを見せるため注目される。

また、表記におけるルビについても、われわれが	
接吻	きっす 1931年11月5日
写真機	きゃめら 1931年11月9日
頁	ページ 1931年11月9日

の例に見られるように、漢語のルビに読みではなくて、それに対応する外来語の原音表記をあてる特徴的な現象も認められるのである。

このように「加州毎日新聞」の日本語の分析をとおして、北米日系人社会をとりまく言語環境とわが国のそれとの差異を背景に、海外移住地における日本語の変遷とその特質について社会言語学的な検討を積み重ねていく予定である。

参考文献

新日米新聞社(1961)『米国日系人百年史』  
伊藤和男(1973)『北米百年桜』貿易出版社